



第 17 第 2 号

2025 年 6 月 2 日

つくば市議会議長 黒田健祐 様

特別支援教育支援員の増員に関する請願書

請願者 住所 茨城県つくば市 [REDACTED]

氏名 [REDACTED]

連絡先 [REDACTED]

紹介議員（署名） 小村 政文

○請願趣旨

1. 目的

つくば市の特別支援学級に通う児童生徒が、安心して安全な学校生活とより質の高い教育を受けられるように、特別支援教育支援員を増員することで、教育環境を改善したい。

児童生徒の学習や生活をより細かくサポートし、一人ひとりのニーズに応じた教育を提供してほしい。また支援員が増えることで、教師の負担を軽減し、教師の教育の質の向上も図りたい。

2. つくば市における状況と支援員増員の必要性

つくば市は一昨年から、小学校が 3 校、中学校が 2 校も新設されるなど、全国でも珍しく子どもの数が増加している。その中で特別支援学級に通う児童生徒も増加傾向にあり、令和元年に 734 人だった小中学生全体の支援学級在籍児童数が、令和 6 年には 1304 人と実に倍近くまで増えている。また、その数を小学生だけに絞ってみても、令和元年に 542 人だった支援学級在籍児童数が、令和 6 年には 944 人とやはり倍近くまで増えている。

ところが、特別支援教育支援員の数は令和元年に 130 人だったのが、令和 6 年には 167 人とわずか 37 人しか増えていない。児童数の増加に対して支援員の増加が圧倒的に追いついていないのが現状である。

その結果、支援学級在籍の児童生徒が交流学級(普通級)で授業を受ける際、十分な支援が行き届かないことが多く、本人だけでなく、普通学級の児童生徒や教師の負担が増し、学校全体の教育環境にも支障が生じるケースが少なくない。

3. 支援員増員によって期待される効果

一人でも多く支援員を増員することで、まずは圧倒的に足りていない特別支援学級の現場でのマンパワーを少しでも補うことができる。そして、一人ひとりの児童生徒のニーズに応じた個別支援が可能となり、児童生徒の安全確保や学習意欲を高め、学校生活の充実にもつながる。

それが学校全体の教育環境の改善にも繋がり、障害のある子どもも無い子どもも安心して学校生活を送れる環境を整備できる。さらに教師の負担が軽減され、提供する教育の質の向上にもつながる。

○請願事項

特別支援学級に通う児童生徒のみならず、普通学級に通う児童生徒や、教育にあたる教員の方々のためにも、つくば市の教育環境を改善するため、つくば市の特別支援教育支援員の増員に向けて取り組んでいただくことを求めます。

以上、地方自治法第 124 条の規定によりお願いいたします。

この請願が、つくば市の特別支援教育の発展、教育環境の改善に貢献することを願っています。